

震災からの復興の感謝のしるしとして、40年振りの窯焚き復活を果たした「濱田庄司登り窯復活プロジェクト」。2回目となるこのプロジェクトでは、作品を生み出す道具である「登り窯」を、陶芸の文化を繋いでいく大切な存在としてあらためて見つめ直し、益子焼と、そのルーツである笠間焼を中心にその他の産地の方々との交流を図ることで新たなステージへと進みます。窯焚きに至る作業や講演会シンポジウムは一般に公開します。この貴重な体験を、ぜひ共有してください。

【イベントスケジュール】 ※日程は天候などにより予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

2017 **11/12** ● **アーティスト・イン・レジデンス**
13:00~
トークショー 信楽×益子

信楽と益子の海外交流事業で来日中の、イギリスの陶芸家ジョン・ベディング氏とオランダの陶芸家ジョリス・リンク氏をお呼びしてお話を伺います。

●主催：益子陶芸美術館／益子国際工芸交流館



12/9 ● **シンポジウム「窯産地の現状」** 益子／笠間が抱える課題と本来の窯産地の姿

14:00~

第1部：登り窯の魅力とは(伊藤慶子氏、原泰弘氏ほか) 第2部：未来の窯産地の姿(益子と笠間の陶芸関係者ら)

●主催：栃木県民藝協会

2018

1/23~25 ● **窯焚き(空焚き)**

1/29~2/2 ● **窯詰め**

2/3~6 ● **窯焚き(本焼き)**

2/11・12 ● **窯出し**

2/17・18 ● **登り窯祭 エキシビション&フードコート**



【参加作家/団体】

阿久津雅士、Ago Paix Labo、浅田恵美子、阿部智也、アンドリュウ・ゲムリッチ、石井佳子、石井ハジメ、石川雅一、石川真光、石川美和、石嶋哲彦、伊藤慶子、岩下宗晶、岩見晋介、岩村吉景、植山英男、生形由香、榎田智、大津廣司、大塚一弘、大塚誠一、大塚雅淑、岡田崇人、岡本芳久、尾崎高行、小堤晶子、小貫善二、小野陽介、折笠秀樹、加守田太郎、木村文子、鯨井円美、Keicondo、見目木実、神津幸浩、近藤文、近藤康弘、齋藤恵子、酒井敦志之、佐川義乱、佐久間藤也、佐藤剛、佐藤りぢゅう、島岡桂、島崎小乙里、庄司健、ジョン・ベディング、菅谷太良、鈴木卓、鈴木量、ステイブ・サリバン、セレンノア英人、高田藍沙、ダグラス・ブラック、竹下鹿丸、武田敏彦、田村香織、田山健司、土橋文子、寺門広気、トキマツヨシミ、額賀章夫、額賀雅子、能登千加重、能登美登利、芳賀龍一、蓮見かおり、長谷川風子、濱田晋作、濱田友緒、原田みどり、平沢佳子、廣瀬泰樹、福島晴雄、藤原都三、藤原里子、船串篤司、堀水小夜、堀水達雄、松崎麗、松崎健、松田路子、松本良太、宮田竜司、谷島潤、矢津田義則、ユアン・クレイグ、横尾聡、MCAA、栃木県民藝協会、濱田窯、益子国際工芸交流館

主催：濱田庄司登り窯復活プロジェクト委員会 お問い合わせ：Tel.0285-72-5300 noborigama.project@gmail.com

後援：益子町、益子町観光協会、益子町商工会、益子焼協同組合、益子焼販売店協同組合、栃木県民藝協会、益子陶芸美術館、NPO法人ましこイーまちネット、NPO法人MCAA、道の駅ましこ、下野新聞社、朝日新聞宇都宮総局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、産経新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、真岡新聞社、NHK宇都宮放送局、とちぎテレビ、エフエム栃木、栃木放送

笠間市、笠間市観光協会、笠間焼協同組合、かさましこ観光協議会、茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館、笠間ギャラリーロード商店会、茨城新聞社

助成：文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

【会場】

濱田庄司記念益子参考館

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3388

Tel.0285-72-5300

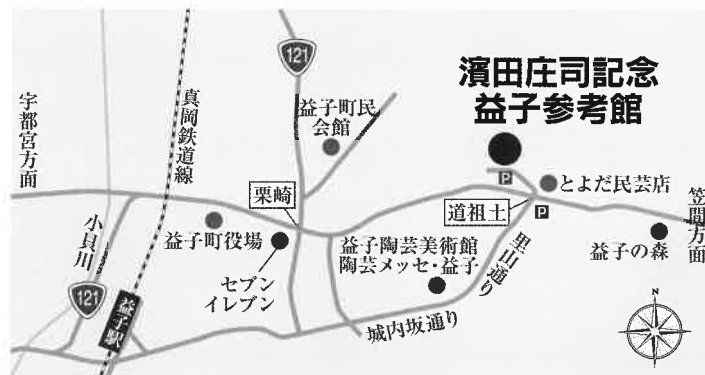
休館日：月曜日(祝日の場合開館し、翌日休館)、12/18~1/3

※1/23(火)~2/18(日)は休まず開館いたします。

入場料 一般800円、中高生400円(20名以上大人700円、中高生300円)

イベントパスポート1,000円

※11/12(日)より発売。期間中フリーパスのパスポート



詳しくはウェブサイト・facebookページにて 登り窯プロジェクト <https://www.facebook.com/hamadashojinoborigama>

<http://www.mashiko-sankokan.net/noborigama-project/>